（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和　4年　10月　1日※1
（前回公表年月日：令和　3年　10月 1　日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
河原外語観光・製菓専門学校	平成20年3月31日	森田　桂子	〒790-0012 愛媛県松山市湊町3丁目5-1 （電話）089-987-7577
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人河原学園	昭和60年10月21日	理事長　河原　成紀	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1番地1 （電話）089-943-5333

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル科（ブライダルコース）	平成25年文部科学省告示第2号	－

学科の目的	専門的かつ実践的、最新の知識や技術、技能を修得するために、校内のみならず校外において、業界・企業と連携した教育並びに授業を行い、コミュニケーション能力・ホスピタリティマインドを併せ持つ人材を育成する。
認定年月日	平成25年1月29日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1,830時間	750時間	180時間	900時間	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	16	0人	2人	11人	13人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 ・定期試験、小テスト、出席、提出物、授業態度
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月20日～8月20日 ■冬　季：12月20日～1月10日 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	・全科目成績評価C以上 ・各科目出席率90%以上 ・卒業基準資格・検定取得
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 面談（本人・保護者）、補習、補講、課題	課外活動	■課外活動の種類 ブライダル・ホテル各企業での長期インターンシップ 国内研修・テーブルマナー研修 ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生） ブライダル業界（専門式場、衣裳店、写真スタジオ等） ■就職指導内容 ブライダル・ホテル業界施設見学、合同企業説明会への参加、履歴書・面談等の指導、三者面談実施　等 ■卒業者数　9　人 ■就職希望者数　9　人 ■就職者数　9　人 ■就職率　：　100　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　100　% ■その他 ・進学者数：　0人 （令和　3年度卒業者に関する令和4年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報） 資格・検定名 / 種別 / 受験者数 / 合格者数 レストランサービス技能士3級 / ① / 9 / 9 ブライダルプランナー検定1級 / ③ / 9 / 7 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 技能五輪全国大会　レストラン部門出場
中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　3.1 % 令和４年4月1日時点において、在学者32名（令和４年4月1日入学者を含む） 令和４年3月31日時点において、在学者31名（令和４年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 人間関係 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、三者面談、カウンセリング、家庭訪問、授業アンケートの実施		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有・無 ※有の場合、制度内容を記入 入試による特典 ■専門実践教育訓練給付：　給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	URL:　http://www.kawahara.ac.jp/sweets/		

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

専門学校の職業教育のモデルは、業界の実務動向、社会の変化がその基盤になければならない。したがって教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教務系会議の中核的委員会として位置づけ、前期末、後期末の総括会議（科目検討、シラバス検討、コマシラバス検討、授業法検討など）において、計画上の可否、実行上の可否判断に関連外部実務家の意見をたえずフィードバックさせる会議体として機能させることとする。議事録などには、新科目開設の必要の有無、シラバス・コマシラバス改善の必要の有無、教授法改善の必要の有無などを科目単位で具体的にアジェンダ集約し、改善の中身が具体的にわかるよう会議を集約することを会議規程としても明白化している。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
奥田　等	愛媛ホテル協会	令和4年4月1日～令和5年3月31日	①
梅津　英世	（株）ノバレーゼ　松山モノリス	令和4年4月1日～令和5年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（11月、3月）

（開催日時（実績））
第1回　令和4年11月12日　16:00～17:00
第2回　令和 5年 3月23日　14:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
サービススタッフの基礎として、場に相応しい挨拶ができ、身だしなみや礼節ができる人材を育成してほしいというご意見から、電話応対や礼儀作法の授業の中で、敬語の使い方、相手を不快にさせない身だしなみについて学習する時間を増やした。また外部講師を招いた正しい姿勢と歩き方についてレッスンを受け、普段の姿勢について客観的に確認し、実践面の強化を図った。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めこととする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

時代とともに激しく変化するブライダル業界において、オリジナルウェディングや流行を追う新郎新婦のニーズに応えるため専門式場やドレスショップの取り入れるトレンドを学び、ブライダルホテル実習に組み込まれるリアルウエディングなどの実践において、実際に新郎新婦に提案できる力を養う。成績評価については、学生ひとりひとりの活動や態度、技術、知識理解、思考判断の観点に基づき現場責任者や、講師から評価を受けている。このような実習授業を通じて学生を企業から求められる人材に近づけ、業界のニーズをとらえた教育活動を実現している。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ブライダル・ホテル実習Ⅰ	ホテルスタッフとして、ブライダルスタッフとしての仕事を実際に見ることで理解し講義で学べない総合的な能力を養う。基本的なことから最新のものまでを実習をとおし、応用力を学習する。	ベイサイド迎賓館
ブライダル・ホテル実習Ⅱ	実際の挙式披露宴を運営し準備打ち合わせから、当日の施行までを学生が担当を決め実施する。お客様の嗜好や考えを理解し授業で得た知識と技術を実践する。	東京第一ホテル
レストランサービス（HRS）	サービススキルの向上はもとより食材や食事を楽しむ上で欠かせない酒類の知識、また安全衛生や設備管理に至る分野を学習する。	ANAクラウンプラザホテル松山（旧：松山全日空ホテル）
ドレスコーディネーター概論	ウェディングドレスのシルエットや素材、小物の名称、和装名称や着付けの基本、ドレスのスタイリングなど衣裳合わせに関する知識をドレスショップで実践的に学ぶ。	華屋衣裳店
プランナー実務	新規接客から、プランニング業務、当日のディレクション業務など、実務に関わる学習をロールプレイングするとともに、専門式場での見学や実務体験をもとに学ぶ。	株式会社ベルモニー マリベールスパイア

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画（カリキュラム、シラバス、コマシラバス）に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

令和4年6月2日　ABC協会主催　ブライダルプランナー検定1級直前対策指導セミナー参加
令和4年8月3日　ABC協会主催　ブライダルプランナー検定2級直前対策指導セミナー参加
令和4年8月3日　ABC協会主催　ドレススタイリスト検定対策指導セミナー参加
日本と欧米（特に米国）のウェディングの歴史とスタイルについて解説。日本における婚礼料理のトレンド、個人装花の特徴について、招待状発送に関する論述ポイントについて学習した。

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「河原学園新人教員研修」
期間：4月～7月にかけて13回　　対象：2021年度入職の新任教員
内容：専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施した。

研修名「データを用いたデジタルトランスフォーメーション講座」（連携企業等：株式会社 ビーアライブ）
期間：12月～2月にかけて5回　　対象：学校運営者、教務責任者、広報責任者
内容：デジタルトランスフォーメーション（DX）が単なる手段ではなく、データを用いた組織・ビジネス変革であることを理解し、自校と外部のデータを掛け合わせながら学校や社会の課題解決を促すことのできる人材の育成を目指す研修を実施した。

（3）研修等の計画

①専門分野における実務に関する研修等

日時：2021年1月13日（水）13:00～15:00
タイトル：2021年第1弾オンラインセミナー「コロナ禍での2021年対応」
コロナ禍におけるブライダル業界の現状、欧米・アジア圏におけるブライダルの実施の現状など業界についてのセミナーに参加予定。在校生に今後のブライダルの展望について解説、入学希望者に対しての現状の説明、不安解消に役立てる。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新人教員研修」
期間：4月～7月にかけて15回を予定　　対象：2022年度入職の新任教員
内容：専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

研修名「Officeスキルアップ研修」
期間：10月～3月にかけてWord, Excel, PowerPointそれぞれの初級・中級コース別に3回程度（合計18回程度）
対象：全教職員
内容：Word, Excel, PowerPointのスキル診断テストを全教職員対象に実施する。その結果を受け、Officeスキルの初級・中級者を対象に、教材の作成能力向上を目指したオンライン配信研修を実施する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めこととする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目的
（2）学校運営	組織・管理運営
（3）教育活動	教育
（4）学修成果	基本指標
（5）学生支援	就職指導、学生支援
（6）教育環境	設置基準項目（施設設備等に関する事項）
（7）学生の受入れ募集	学生の受け入れ
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	設置基準項目、組織・管理運営（法令遵守）
（10）社会貢献・地域貢献	学校教育以外の諸活動
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

退学者が多かったことを指摘されたため、29年度はフォロー学生のケアとして、保護者との連携、フォロー学生ケース会議の開催、綿密な面談等を行い出席率平均96.6%、不登校者4名となり退学率も1.2%と改善されている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
各務　知夏	とりかい眼科クリニック	令和4年4月1日～令和5年3月31日	卒業生
森　柚香	アイリーナat松山	令和4年4月1日～令和5年3月31日	卒業生
正鑄　倫子	正鑄　涼　母	令和4年4月1日～令和5年3月31日	保護者
近藤　佳絵	近藤　由那　母	令和4年4月1日～令和5年3月31日	保護者
松岡 夕子	松岡晃希	令和4年4月1日～令和5年3月31日	保護者
永尾　彰英	パティスリーミカンカフェ	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
春名　勝之	日本旅行業協会	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
住友 洋文	JR四国　伊予灘ものがたり企画室	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
吉本　多恵子	シェラトングランドホテル広島	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
山崎　公平	㈱マリーゴールドホールディングス	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
浅野　光孝	一般社団法人永頼会　松山市民病院	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
池水　信也	株式会社レディ薬局	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
種植　千里		令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
金村　俊治	坊ちゃん劇場	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業
奥田　寧	南海放送サービス株式会社	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）

URL:　http://www.kawahara.ac.jp/sweets/

公表時期：令和4年10月31日

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

高度な職業教育への研鑽を組織的、継続的に推進するためには、組織的、継続的な企業連携が必須とわれわれは考えている。その連携を有意義なものとするためには、企業にとって、学校の教育人材目標やその現状が体制として見えやすいものになっていなければならない。教育課程編成会議、学校関係者評価会議などの会議規程の透明性や開放性はもとより、自己点検評価の各指標全体が検証可能な透明性や開放性を持つことが、そのためにも必須である。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育理念・目的、沿革、組織・管理運営、設置基準項目（施設設備等に
（2）各学科等の教育	基本指標、教育、設置基準項目（学生に関する事項）設置基準項目
（3）教職員	設置基準項目（教員等に関する事項）
（4）キャリア教育・実践的職業教育	就職指導
（5）様々な教育活動・教育環境	教育活動以外の諸活動
（6）学生の生活支援	学生の受け入れ
（7）学生納付金・修学支援	設置基準項目（財務に関する事項）、学生の受け入れ
（8）学校の財務	財務
（9）学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価結果公開資料
（10）国際連携の状況	学校教育以外の諸活動
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）

URL:　http://www.kawahara.ac.jp/sweets/

授業科目等の概要

（商業実務専門課程ブライダル・ホテル科ブライダルコース）　令和4年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			欧米ブライダル概論Ⅰ	欧米に於けるブライダル業界の基礎分野の理解。（日本と欧米の文化の違い・挙式形態・宗教観・リハーサルウェディングから当日までの流れ・ウェディングパーティーの役割）	1前	60	4	○			○		○		
○			日本ブライダル概論Ⅰ	本に於けるブライダル業界の基礎分野の理解。（歴史・業界内の分業・日本ブライダルの変遷・挙式形態・披露宴・衣裳やフラワーなどの関連業務に関する知識。）	1前	60	4	○			○		○		
○			ホテル宿泊実務Ⅰ	宿泊実務の基礎知識の理解。（概要・ホテルマンの心構え・ホテルの歴史・旅館業法と国際観光ホテル整備法・食品衛生法・プロトコル・ドアマン・ベルマン・クローク・コンシェルジュ・フロント業務）	1前	60	2	○			○		○		
○			ホテル料飲実務Ⅰ	料飲部門の基礎知識の理解。（概要・食材に関する基礎的知識）料飲業務の理解・宴会業務・婚礼業務・レストラン業務・日本、中国料理の基礎知識。サービス技術の理解	1前	60	2	○			○		○		
○			ヘアメイク実習Ⅰ	ブライダル・ホテル業界で求められているヘアメイクを学び、ケースごとに相応しいヘアメイクを学習する。ブライダルメイク・ショーメイク。	1前	30	1	△		○	○			○	
○			パーソナルカラー	色彩と文化の理解。（四季を表す色・日本の色の歴史・ヨーロッパの色の歴史・）色彩理論の理解。（色の仕組み・色の感情効果・配色効果・色の知覚効果・配色テクニック）パーソナルカラーとスタイリング	1通	90	3	○			○			○	
○			実用英語Ⅰ	ホテルや観光業界で使われる単語や文法、様々なシチュエーションでの英会話文を理解する。ホテル・観光業での基礎知識を学ぶ。	1前	60	4	○			○			○	
○			ベーシック英会話	ブライダルの受付・ホテルのフロント業務に必要な英語力を身につける。（ベーシック英会話：英会話を中心にホテル・ブライダルのフロント業務に必要な英会話を学ぶ。	1前	60	2	○	△		○		○		
○			就職実務	就職に対する動機付けを行い、履歴書の作成や面接練習など就職活動を円滑にする為の知識を学習する。	1後	30	1	○		△	○		○		
○			装道Ⅰ	着物の種類や着分け、各部の名称について基本的な知識を学び、浴衣・袴和装の自装を目指す。	1後	60	2	△		○	○			○	
○			ブライダル・ホテル実習Ⅰ	ホテルスタッフとして、ブライダルスタッフとしての仕事を実際見る事で理解し講義では学べない総合的な能力を養う。基本的な事から最新のものまでを実習をとおし、応用力を学習する	1通	120	4	△		○	△	○	○		○
○			PC実習	エクセル・ワードの基本操作（文章作成・飾り文字・レイアウト・図形、画像の挿入・表計算・関数計算・グラフ、表の挿入など）・動画編集・パワーポイントの基本の学習	1通2前	150	5	△		○	○			○	
○			電話応対	電話応対の知識や技術を習得する。（発声・言い回し・正しい日本語・電話応対）問合せの電話等実際に就職後の職場を想定してバランスよく学ぶ事が出来ている。	1後2後	60	2	△	○		○			○	

○			コミュニケーション	ブライダル業界・ホテル業界で働くうえでコミュニケーション能力・発声方法・自己アピール方法・他紹介・司会など人と接する方法を学ぶ。	1後2前	60	2	△	○		○			○	
○			レストランサービス(HRS)	レストランやバンケットホールで働くのに必要な接客、サービスについて学ぶ。什器や器具の名称、用途、使用上の注意事項を理解した上で使いこなせるようになる。食材や調理法、ワインなど料飲の製造方法、種類を理解する。	1通2通	210	7	△		○	○	△	○		○
○			一般教養	就職後に必要な名刺の渡し方や席次などのビジネスマナーと冠婚葬祭のマナー、年間・季節の行事、手紙の書き方などの一般教養を学ぶ	2通	30	2	○			○		○		
○			社会教養	第二外国語として、中国語・韓国語について、あいさつ簡単なコミュニケーションがとれるように、聞く・話す・読む・書くの基本を学ぶ	2通	60	4	○			○			○	
○			卒業制作	2年間の集大成と位置付け、学んだ事を利用し作品を制作する。	2後	90	3	○			○		○		
○			ブライダル・ホテル実習Ⅱ	実際の挙式・披露宴を運営し準備打合せから、当日の施行までを学生が各担当を決め行なう。実際のお客様の考えや嗜好を考え授業で得た知識と技術を実践する。	1後2通	180	6			○	○	○	○		○
	○		欧米ブライダル概論Ⅱ	欧米ブライダルの基本的な背景・慣習・あり方を説明できる。体系的な欧米の挙式とレセプションの内容・流れについて説明できる。欧米の宗教・宗派別の慣習の違いを理解し、そこで活躍するブライダルコンサルタントのあり方からそのビジネスに至るまでを説明できる。	2前	30	2	○			○		○		
	○		日本ブライダル概論Ⅱ	日本に於けるブライダル業界の基礎分野の理解。(歴史・業界内の分業・日本ブライダルの変遷・挙式形態・披露宴・衣裳やフラワーなどの関連業務に関する知識。)	2通	60	4	○			○		○		○
	○		ヘアメイク実習Ⅱ	美容理論・メイク理論を学び、基礎技術を身につける。ブライダルの観点でのヘアアレンジ方法やベールの付ける位置、ドレスとのマッチング等を理解する。	2前	30	1			○	○			○	
	○		装道Ⅱ	婚礼時の新郎新婦の和服をはじめ、親族ゲストの着物についての基礎知識を理解し、着付け方(自装・他装)、取り扱い方を習得する。	2通	60	2			○	○			○	
	○		フラワーディスプレイ	ディスプレイのセッティングやギフトを包装紙で包む方法など、業界で必要になる知識を学ぶ。	2前	30	1			○	○			○	
	○		ドレスコーディネーター概論	ブライダルで、取り扱われているドレスをシルエットやネックライン、スリーブラインにより分類し会場や体型に合わせた提案について座学で学ぶ。	2後	30	2	○		△	○	△	○		○
	○		プランナー実務	ブライダルプランナーとして必要な知識、技術の習得。見積書の作成、席次表の作り方、招待状発送までの流れや注意事項、利用規約(約款)について、基本を学び説明する。	2通	60	2	△		○	○	△	○		○
合計				26　　科目	1830単位時間(　74　単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目成績評価C以上、卒業必須資格２科目、卒業選択資格１科目取得、出席率90%以上	１学年の学期区分	前・後期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。